

## CS こひつじ科礼拝式次第

2020年8月2日 午前9時30分

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「神はご自分にかたどって人を創造された。」

創世記1章27節

53、あさです（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記2章1～4節前半

天地万物は完成された。第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なされた。この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なされたので、第七の日を神は祝福し、聖別された。これが天地創造の由来である。

おはなし 「天地創造（二）」

五十嵐美代枝先生

皆さんおはようございます。

主なる神さまは、何も無い無からこの世界を創られました。六日間でこの世界を創られ、創られたすべてのものはとても良いもので、大変満足されました。

そこで主なる神さまは、創造の御業が完成したため、創造の仕事を離れて、七日目に安息なされました。私たち人間ですと六日間一生懸命働いたら疲れて七日目には休んで体の疲れを取らなければなりません。神さまは違います。疲れて七日目に休んだではありません。創造が終わり、たいへんよく創られたこの世界を祝福し、聖別されるために安息なされたのです。安息日は神さまが特別に取り分けられた日なのです。

「祝福」とは、神さまから私たちへの祝福です。日ごとに神さまの恵みは受けられますが、七日目は特別に神さまの恵みを受けることができる日です。神さまを礼拝する日だからです。礼拝で神さまの御言葉を聞き、讚美し、喜び、交わることができます。それから、礼拝の最後に牧師が祝祷をしてくれますよね。たとえば「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。主が御顔を向けてあなたを照らし、あなたに恵みを与えられるように」（民数記6章24節）と言うような祝福の御言葉です。このような恵みから、新しい週を始めることができるということはすばらしいことなのです。

「聖別」とは、礼拝のためにこの世界の他のものから特別に取り分けることです。私たち人間はとても弱く、すぐに神さまから喜ばれない悪い方へ行ってしまう。ですから、そうならないために、礼拝に出て、神さまから祝福を受けて、新しい一週間を始めなければならないのです。この日はまず神さまのために、神さまの礼拝のために使わなければならない日なのです。ですから、強い心を持ってこの

日を神さまのためにささげられるように準備しなければなりません。一週間のうちの六日間と一日はまったく別なものです。みな大事な日ではありますが、七日目は神さまを礼拝する特別な日であることを覚えてください。これからも主の日を第一に思い、神さまと共に歩いていきましょう。

この日に 神はすべての創造の仕事を離れ、安息なされたので、第七の日を 神は 祝福し、聖別された。（創世記2章3節）

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）再開後にまとめておささげください

62、海と空つくられたしゅ（こどもさんびかをお用ください）